


令和4年度 基本評価調書①		所管部局	環境生活部	所管課	文化振興課、道民生活課		
施策名	北海道独自の歴史・文化の発信と継承			施策コード	0315		
政策体系(中項目)	ふるさとの歴史・文化の発信と継承			政策体系コード	3(4)A		
関連重点戦略計画等	知事公約 創生総合戦略					事務事業数	16
SDGs				総合判定	順調		
予算額(千円)	R 4	543,164	R 3	596,759	R 2	585,839	

施策目標	<ul style="list-style-type: none"> 世界文化遺産「北海道・北東北の縄文遺跡群」の適正な保存と活用を図り、国内外に向けてその価値を広く発信するとともに、北の縄文道民会議と連携した事業の実施など官民一体となった道民運動を展開する。 北海道博物館を核として地域の博物館なども連携し、本道ならではの歴史や文化を発信する取組を推進し、次代に継承する。 市町村や民間企業等の協力を得ながら、「北海道みんなの日」の認知度を高めていく。 					
現状と課題	<p>【縄文】</p> <ul style="list-style-type: none"> 縄文遺跡群の有する魅力を伝えるための受入体制やコンテンツが不足している。 コロナ禍で当面、遺跡への来訪者の増加は見込めない状況であるが、ポストコロナを見据え、遺跡群の価値や魅力を発信する取組を進める必要がある。 <p>【ふるさとの歴史・文化(北海道博物館)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 人びとの生活意識や価値観の多様化などにより、物質的・経済的な豊かさだけでなく、日常の暮らしの中にゆとりや潤いとあった心の豊かさが一層求められるようになり、文化に対する関心や期待の高まりがあることなどから、本道ならではの歴史や文化を継承、発信する取組を推進する必要がある。 <p>【道みんなの日の啓発】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「北海道みんなの日条例」で定めた「北海道みんなの日」に関する取組は、年々広がりつつあるものの、まだ十分に定着したとは言えない状況にある。 					
前年度二次評価意見				対応状況(R4.3時点)		

	今年度の取組	実績と成果
主な取組	<p>【縄文】</p> <p>【縄文世界遺産登録推進本部(4道県及び市町)】国内フォーラム開催、魅力発見・発信事業、登録記念誌作成事業</p> <p>【道及び北の縄文道民会議】世界文化遺産登録1周年シンポジウム、パネル展、セミナー等普及啓発事業</p> <p>【道】体験コンテンツの磨き上げや縄文遺跡に関する情報を集約したポータルサイトの構築等</p> <p>【ふるさとの歴史・文化(北海道博物館)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 北海道の歴史・文化に関わる「資料の収集・保存」、「展示」、「調査研究および成果の発信」、「教育普及」、「情報発信」 北海道開拓の村の整備 北海道の中核的博物館としての取組 <p>【道みんなの日の啓発】</p> <ul style="list-style-type: none"> 道みんなの日の認知度を高めるための啓発、市町村・関係団体への協力要請 	<p>【縄文】</p> <p>【縄文世界遺産登録推進本部】</p> <ul style="list-style-type: none"> 子供向けパンフレットの作成 <p>【道及び北の縄文道民会議】</p> <ul style="list-style-type: none"> 世界文化遺産登録記念フォーラムを開催(12月) 展示及びセミナーを開催(10月～3月:根室市、様似町、帯広市、札幌市) <p>【道】</p> <ul style="list-style-type: none"> ガイド養成本の作成、ATWS向け映像の作成 <p>【ふるさとの歴史・文化(北海道博物館)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 第7回特別展「あっちこっち湿地」を開催。(R3.7.13～7.21、※当初R3.7.10～9.20開催予定も、新型コロナウイルスの感染拡大防止のためR3.5.1～7.11、7.22～9.30休館) 特別展開連行の野外イベント「夏だ!海だ!川だ!湿原だ!全部まとめてシッチフェス!」をオンライン開催。(R3.8.15～9.20) 北海道開拓の村の整備について、建設部の長期修繕計画において年間2～3棟の修繕を実施。R4年度は旧近藤染舗、旧小樽新聞社の改修工事を実施。(R3.11.2～R5.2.10) 北海道の中核的博物館としての取組として、北海道博物館協会第59回大会を開催。(R3.7.15～16) <p>【道みんなの日の啓発】</p> <ul style="list-style-type: none"> 記念事業の実施(R1 1回 R2 0回 R3 1回) 市町村立施設の無料・割引(R1 40施設 R2 22施設 R3 34施設)

連携状況	<p>【縄文】</p> <p>教育庁文化財・博物館課と連携し、「北海道・北東北の縄文遺跡群」の価値や魅力を発信するためのパネル展やセミナー(10月～3月)を開催した。</p> <p>【ふるさとの歴史・文化(北海道博物館)】</p> <p>北海道化石会と連携して、企画テーマ展「アンモナイトと生きる」をR4.2.19～R4.5.22に開催し、5,561人の来館者数を記録するなど、市民団体と連携した成果が確認できる。</p> <p>【道みんなの日の啓発】</p> <p>道みんなの日(7.17)を中心として市町村立施設内や店頭でのポスター掲示など市町村や民間企業と連携して認知度向上に取り組んだ。</p>
緊急性優先性	<p>【縄文】</p> <p>令和3年10～11月に行った縄文遺跡群認知度アンケートにおいて、来訪者の満足度を上げるために必要なものとして「ガイドによる解説や説明パネルの充実」との回答が最も多く、令和3年11月に国に対して、縄文世界遺産の魅力向上や誘客促進などに必要な予算の確保を要望しており、遺跡の魅力やガイドの育成や広報の強化及び遺跡へのアクセスに関する情報提供を行うため、国や関係市町と連携した取組が必要である。</p> <p>【ふるさとの歴史・文化(北海道博物館)】</p> <p>北海道博物館ではアンケート調査を行っており、展示のテーマ等に関するご意見は展示計画策定の際に参照している。この結果を踏まえ、展示の維持管理・改修や展示テーマの策定ならびに展示の実施、職員実行や経常的な予算の範囲で可能な調査研究などに日常的に取り組んでいる。</p>

令和4年度 基本評価調書②	施策名	北海道独自の歴史・文化の発信と継承	施策コード	0315
---------------	-----	-------------------	-------	------

〈成果指標の達成状況〉 ⇒ 3つ以外の指標は、補助指標調書に記載

指標名①	維持	千人	R元年度	R2年度	R3年度	最終目標(R6)	達成率	指標判定
世界遺産所在市町の観光入込数		目標値	-	-	15,430	16,011	-	-
		実績値	-	-	-	-	-	-
設定理由	創生総合戦略の基本戦略「北海道独自の歴史や文化の発信」の観点から縄文遺跡群の世界遺産登録を契機に官民一体となった道民運動の成果を図る効果的な指標として設定（対象：千歳市、伊達市、函館市、洞爺湖町）							
分析（主な取組と成果）								
世界遺産登録された以降においても、道民の理解を深め、さらなる気運の醸成を図る必要があると認識しており、世界遺産登録1周年記念シンポジウムやリレー展等による普及啓発、ホームページや動画広告による情報発信やポータルサイトの構築、交流会を通じたガイドの育成、周遊コースの造成や教育旅行向け映像の作成により誘客を促進する等、地域の賑わいを創出する事業を行う。（評価年度の実績値について、R4.7.1時点で公表されていないため達成率は算定不可（R3年度実績値：6,983（R4.9月公表））、また遺跡への来訪者数については、今後、把握予定）								

指標名②	増加	%	R元年度	R2年度	R3年度	最終目標(R7)	達成率	指標判定
北海道博物館の利用者満足度		目標値	70.0	70.0	80.0	80.0	125.0%	A
		実績値	93.7	90.9	100.0	-	-	-
設定理由	総合計画の政策の方向性「北海道独自の歴史・文化の発信と次代への継承」の観点から、北海道博物館を核とした本道固有の歴史・文化の発信に係る効果的な取組を図る指標として設定							
分析（主な取組と成果）								
施設整備面を含め改善すべき点は多いものの、提供している総合展示、企画展示、教育普及事業の内容、施設環境、利用者サービスなどが、概ね高い水準で維持されているものと推定される。								

指標名③			R2年度	R3年度	R4年度	最終目標()	達成率	指標判定
		目標値					-	-
		実績値						
設定理由								
分析（主な取組と成果）								

【総合判定】

連携状況	○	緊急性優先性	○	指標判定	A	総合判定	順調
------	---	--------	---	------	---	------	----

	対応方針番号	内容
翌年度に向けた対応方針	①	「北海道における縄文世界遺産の活用のあり方」に基づき、来訪促進に向けた道内遺跡群の価値の磨き上げや情報発信に取り組む。（周遊コースや体験メニューの造成、教育旅行向け映像の制作、ポータルサイトの構築、SNS動画広告の配信）
	②	展示や施設環境、利用者サービスなどを高い水準で維持し、来館者増加に繋げるためには、施設整備のほか更なる魅力の向上が必要であることから、展示改修や展示のデジタル化、情報発信に取り組む。
	③	

令和4年度 基本評価調書③	施策名	北海道独自の歴史・文化の発信と継承	施策コード	0315
---------------	-----	-------------------	-------	------

〈二次政策評価〉

R4年度 二次政策 評価	<p>【施策の緊急性・優先性】 「北海道・北東北の縄文遺跡群」が世界遺産に登録されたことから、世界遺産の活用のあり方や今後の方向性等を踏まえ、効果的・効率的な執行体制の構築を進めること。</p>
--------------------	---

令和4年度 事務事業評価調査	施策名	北海道独自の歴史・文化の発信と継承	施策コード	0315
-----------------------	-----	-------------------	-------	------

整理番号	重複施策	経費区分	事務事業名	事務事業概要	課・局 室名	令和4年度						令和4年度			
						前年度からの 繰越事業費 (千円)	事業費 (千円)	うち 一般財源	執行体制			フル コスト (千円)	一次政策評価		二次政策評価意見
									本庁	出先機関	人工計		対応 方針 番号	方向性	
0801		一般	文化発信拠点づくり推進事業	北海道歴史・文化ポータルサイトの運営等、北海道の歴史・文化に関する情報発信に係る業務	文化振興課	0	803	803	0.2	0.0	0.2	2,360			
0803		投資的経費 B	野幌森林公園施設整備費(施設建設事業費)	野幌森林公園の施設改修等に関する業務	文化振興課	0	9,000	9,000	0.0	0.2	0.2	10,557			
0804		維持費	野幌森林公園管理費	北海道博物館及び野幌森林公園の維持運営のための業務	文化振興課	0	3,618	3,618	0.0	0.7	0.7	9,067			
0805		事務	野幌森林公園利用指導業務	野幌森林公園利用者の指導、苦情対応、普及啓発、広報、統計事務等	文化振興課	0	0	0	0.0	0.7	0.7	5,449			
0806		事務	野幌森林公園許認可業務	道立自然公園である野幌森林公園内における各種行為の申請等に係る許認可等業務	文化振興課	0	0	0	0.0	0.3	0.3	2,335			
0807		一般	北海道博物館事業費(情報システム分除く)	北海道博物館の展示事業、教育普及事業等の実施	文化振興課	0	9,200	9,200	0.0	19.0	19.0	157,096			
0808		事務	北海道博物館事業費(情報システム分)	収蔵資料データベースの管理、HP閲覧システムの運用経費	文化振興課	0	0	0	0.0	0.1	0.1	778			
0809		一般	北海道博物館試験研究費	北海道博物館の調査研究活動	文化振興課	0	12,687	6,417	0.0	10.0	10.0	90,527			
0810		一般	北海道博物館管理運営費	北海道博物館(本館)、北海道開拓の村、自然ふれあい交流館の管理運営(指定管理業務)	文化振興課	0	342,546	341,172	0.0	2.0	2.0	358,114			
0811		一般	開拓の村費	開拓の村の維持管理運営等に関する業務(委託料)	文化振興課	0	2,552	2,552	0.0	0.3	0.3	4,887			
0816		一般	樺太記憶継承事業	(一社)全国樺太連盟から委譲された資料の保管、調査研究を行うとともに、展示等に活用し、文化振興を図る。	文化振興課	0	6,576	0	0.0	0.2	0.2	8,133			
0833		一般	アイヌ文化情報発信強化事業(創生交付金)	アイヌ文化や歴史に触れる機会の創出に係る経費(アイヌ文化「知の拠点」からの体験・交流促進、アニメーションによる北海道固有文化魅力発信)	文化振興課	0	20,528	10,625	0.5	0.5	1.0	28,312			
0834		一般	北海道博物館特別展	環境保全に関する意識の向上等を図るとともに、コロナ禍での大規模展示会としての「昆虫」をテーマとした特別展開催に係る経費(北海道博物館特別展の開催)	文化振興課	0	10,000	0	0.0	1.2	1.2	19,341			
0835		一般	野幌森林公園エリア活性化・拠点化事業(文化観光拠点施設機能強化等事業)	「北海道歴史・文化・自然「体感」交流空間構想」に基づき展示改修等を行い、コロナ禍で減少したインバウンド需要の再取得を目指すための経費	文化振興課	0	66,483	50,408	6.0	1.8	7.8	127,198	②	改善(取組分析)	
0836		一般	縄文世界遺産活用促進プロジェクト事業費(創生交付金)	世界文化遺産に登録された「北海道・北東北の縄文遺跡群」の適正な保存と活用を図るとともに、国内外に向けて、その価値を広く発信する。	文化振興課	0	56,501	44,390	5.0	0.0	5.0	95,421	①	改善(取組分析)	【施策の緊急性・優先性・事務事業の有効性】 ※基本評価調査③<二次政策評価>参照

0818		一般	「北海道みんなの日」活動事業費	「北海道みんなの日」(愛称:「道みんなの日」)を広く道民や観光客に周知・定着させるため、各部局及び民間企業と連携した事業及びPR活動を実施	道民生活課	0	2,670	2,670	0.2	0.0	0.2	4,227			
計						0	543,164	480,855	11.9	37.0	48.9				

